

科目名	動物形態機能学						学年	1
講師名	三浦 希				単位数	8	コマ数	60
教科目標 動物の生命維持のしくみを形態学・機能学・生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各段階で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。								
講 義 内 容	1	総論	16	刺激伝導系	31	脾	45	自律神経
	2	体の成り立ち	17	心調整機構	32	肝	46	運動器系
	3	細胞の構造	18	血管	33	内分泌系	47	骨格
	4	遺伝子	19	血圧調整	34	ホルモン	48	骨の構造
	5	細胞膜	20	呼吸器系	35	フィードバック	49	関節
	6	ホメオスタシス	21	内・外呼吸	36	作用と標的	50	筋
	7	細胞分裂	22	O ₂ とCO ₂	37	泌尿器系	51	血液
	8	遺伝法則	23	アシドーシスとアルカローシス	38	腎の構造	52	造血器
	9	性と遺伝	24	呼吸中枢	39	腎機能	53	血球
	10	生命維持	25	消化器系	40	神経系	54	血漿
	11	運動・調整	26	消化器構造	41	中枢神経	55	皮膚の構造
	12	組織	27	口腔 食道	42	末梢神経	56	皮膚の機能
	13	器官	28	胃	43	ニューロン	57	感覚器
	14	循環器	29	小腸	44	シナプス	58	体性感覚
	15	心の構造	30	大腸	45	体性神経	59	特殊感覚

評価方法	授業参加度および最終課題		
評価基準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び 参考図書	書籍名	著者名	発行所
	愛玩動物看護師の教科書1		緑書房

科目名	動物繁殖学			学年	1
講師名	門田 英敏		単位数	2	コマ数 15
教科目標 繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。					
講 義 内 容	1	総論：繁殖・性成熟と繁殖生理			
	2	性器の形成と機能			
	3	性成熟と発情徴候 性ホルモン			
	4	排卵の仕組み			
	5	性周期と腔細胞スメア 交配適期の決定			
	6	着床・妊娠・胎児の発育			
	7	妊娠診断・妊娠期間・妊娠徴候			
	8	分娩と助産 帝王切開			
	9	人工授精			
	10	新生子管理：飼育環境			
	11	初乳の意義と哺乳			
	12	新生子の発育過程			
	13	生殖方法			
	14	遺伝様式			
	15	遺伝性疾患 発生異常			

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上)：教科目標を高い水準で達成している。		} 単位認定
		B(80～89点)：教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点)：教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点)：教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格)：教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書1		緑書房	

科目名	動物病理学			学年	1
講師名	門田 英敏	単位数	2	コマ数	15
教科目標 疾病の成り立ちと回復の促進に寄与することを学ぶ 様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。					
講 義 内 容	1	総論: 疾病と恒常性、病理解剖と病理組織学的検査の意義			
	2	総論: 細胞や組織に生じる変化: 変性・物質沈着・壊死とアポトーシス			
	3	細胞や組織に生じる変化: 細胞増殖、過形成と肥大、萎縮、低形成			
	4	細胞や組織に生じる変化: 器質化、再生と化生			
	5	循環障害: 充血とうっ血、出血			
	6	循環障害: 血栓、虚血、梗塞			
	7	循環障害: 水腫、浮腫、ショック、DIC			
	8	炎症: 定義と五大徴候			
	9	炎症: 経過と治癒			
	10	炎症: 急性炎症と慢性炎症			
	11	炎症: 関与する細胞 ケミカルメディエーター			
	12	腫瘍: 定義と分類			
	13	腫瘍: 原因と発生機序			
	14	腫瘍: 転移と進行			
	15	先天異常			

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 A)	A(90点以上): 教科目標を高い水準で達成している。		} 単位認定
		B(80~89点): 教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点): 教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点): 教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格): 教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書3		緑書房	

科目名	動物薬理学			学年	2	
講師名	大石 悦子		単位数	4	コマ数	30
教科目標 代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する						
講 義 内 容	1	薬理作用と発現機構	16	オータコイド		
	2	薬物動態	17	糖尿病治療薬		
	3	相互作用 副作用	18	甲状腺ホルモン製剤		
	4	投薬量の計算	19	ステロイドホルモン		
	5	投薬法 分類 関連法規	20	NSAIDs		
	6	神経系:麻酔薬 鎮痛薬 筋弛緩薬	21	抗貧血薬		
	7	神経系:問題行動治療薬	22	血液凝固関連薬		
	8	呼吸器系:興奮薬 鎮咳薬	23	抗炎症薬		
	9	呼吸器系:気管支拡張薬	24	免疫抑制薬		
	10	循環器系:血管拡張薬 心不全治療薬	25	化学療法薬:抗菌薬		
	11	循環器系:抗不整脈薬 利尿薬	26	化学療法薬:抗真菌薬		
	12	消化器系:制吐薬	27	駆虫薬 殺虫剤		
	13	消化器系:制酸薬	28	抗腫瘍薬		
	14	消化器系:止瀉薬 瀉下薬	29	関連法規		
	15	消化器系:肝	30	薬剤管理		

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		} 単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書3		緑書房	

科目名	動物感染症学			学年	1	
講師名	門田 英敏		単位数	6	コマ数	45
教科目標 微生物の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ						
講 義 内 容	1	総論:感染症の定義	16	微生物:増殖方法		
	2	感染症の成立	17	微生物:検査法		
	3	感染と発症	18	微生物:細菌感染症(サルモネラ等)		
	4	感染経路	19	微生物:細菌感染症(緑膿菌等)		
	5	体内での拡散	20	微生物:細菌感染症(パストレラ等)		
	6	免疫反応	21	微生物:細菌感染症(レプトスピラ等)		
	7	免疫応答	22	微生物:細菌感染症(菌周病等)		
	8	免疫担当細胞とその役割	23	微生物:細菌感染症(膿皮症等)		
	9	自然免疫と獲得免疫応答	24	微生物:細菌感染症(外耳炎等)		
	10	液性免疫と細胞性免疫応答	25	微生物:真菌症 分類 形態等		
	11	アレルギー	26	微生物:真菌症 皮膚糸状菌等		
	12	自己免疫疾患	27	ウイルス:分類、形状、増殖法等		
	13	ワクチン:原理、種類、接種プログラム	28	ウイルス:狂犬病等		
	14	微生物:分類	29	ウイルス:パルボウイルス等		
	15	微生物:形態	30	ウイルス:ケンネルコフ等		

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書3		緑書房	

科目名	動物感染症学			学年	2
講師名	門田 英敏	単位数	2	コマ数	15
教科目標 寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。					
講 義 内 容	1	分類、形態			
	2	生活環			
	3	病原性			
	4	原虫			
	5	原虫と疾患			
	6	線虫			
	7	腸内寄生線虫と疾病			
	8	住血寄生線虫と疾病			
	9	条虫			
	10	条虫と疾患			
	11	吸虫			
	12	吸虫と疾患			
	13	衛生動物			
	14	駆虫薬 駆除薬			
	15	消毒と滅菌			

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		} 単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書3		緑書房	

科目名	動物看護学概論			学年	1
講師名	納谷 史織		単位数	2	コマ数 15
教科目標 獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する					
講 義 内 容	1	獣医療の歴史	9	動物看護学と高等教育	
		獣医療倫理		動物看護実践	
	2	動物看護の歴史	10	動物看護研究	
		動物看護の概念		動物看護学の成立と特徴	
	3	動物看護の基本	11	動物看護師の役割	
		動物看護における倫理		認定動物看護師	
	4	動物にとっての福祉	12	動物看護学カリキュラム	
		動物にとっての健康		愛玩動物看護師	
	5	動物にとってのQOL	13	専門職能団体	
		動物看護に影響を与える環境要因		職域に関する行政組織	
	6	動物看護が果たすべき役割	14	専門機関	
		動物看護の探求		獣医療の動向	
	7	動物看護学教育の変遷	15	動物福祉関連の動向	
		動物看護理論の成立		欧米の動物看護師	
	8	動物看護学における課題		今後の動物看護師像	

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		} 単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書3		緑書房	

科目名	動物看護関連法規			学年	1
講師名	三浦 希	単位数	1	コマ数	8
教科目標 動物や獣医療に関する様々な法規について学び、社会における動物看護師の役割を理解する。					
講 義 内 容	1	法学総論			
	2	獣医師法			
		獣医療法			
	3	家畜伝染病予防法			
		ペットフード安全法			
	4	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)			
		狂犬病予防法			
	5	と畜場法 食品衛生法			
		身体障害者補助犬法			
	6	薬事行政法規			
		動物の愛護及び管理に関する法律			
	7	外来生物法 ワシントン条約 鳥獣保護法 ラムサール条約			
		労働基準法			
	8	個人情報保護に関する法律			
		愛玩動物看護師法			

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		} 単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書2		緑書房	

科目名	動物愛護・適正飼養関連法規			学年	3
講師名	三浦 希	単位数	1	コマ数	8
教科目標 動物や獣医療に関する様々な法規について学び、社会における動物看護師の役割を理解する。					
講 義 内 容	1	動物・適正飼養の基本と概念			
	2	動物愛護管理法 ペットフード安全法			
	3	社会福祉行政			
	4	環境衛生法規			
	5	生物多様性 外来生物法			
	6	ワシントン条約 種の保存法			
	7	鳥獣保護法 自然公園法			
	8	ラムサール条約 まとめ			
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書2		緑書房	

科目名	公衆衛生学			学年	3	
講師名	◎三浦 希		単位数	4	コマ数	30
<p>教科目標</p> <p>環境および食品衛生、疫学、人共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。</p> <p>◎上記の内容は、厚生労働省の国家公務員として勤務した経験を活かし、行政的な実例を挙げ、理解につなげる。</p>						
講 義 内 容	1	総論	16	人獣共通感染症: 予防方法		
	2	動物看護における公衆衛生の目的	17	人獣共通感染症: 細菌感染症		
	3	動物公衆衛生: 環境衛生	18	人獣共通感染症: リケッチア・フラムミア		
	4	動物公衆衛生: 水・大気・環境問題	19	人獣共通感染症: 寄生虫		
	5	動物公衆衛生: 廃棄物・衛生動物	20	人獣共通感染症: 真菌症		
	6	動物公衆衛生: 食品衛生	21	人獣共通感染症: 原虫		
	7	動物公衆衛生: 残留農薬・健康被害	22	人獣共通感染症: ウイルス		
	8	動物公衆衛生: HACCP・GLP・GMP	23	人獣共通感染症: 寄生虫		
	9	動物公衆衛生: 食中毒対策	24	人獣共通感染症: プリオン病		
	10	動物公衆衛生: 食品衛生法	25	人獣共通感染症: 寄生虫		
	11	動物公衆衛生: 規格・基準	26	人獣共通感染症: ベクター		
	12	人獣共通感染症: 定義	27	新興感染症		
	13	人獣共通感染症: 増加の社会的背景	28	再興感染症		
	14	人獣共通感染症: 人と動物の違い	29	疫学		
	15	人獣共通感染症: 地理的要因	30	薬剤耐性菌		

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 A)	A(90点以上): 教科目標を高い水準で達成している。		単位認定
		B(80~89点): 教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点): 教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点): 教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格): 教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書3		緑書房	

科目名	人と動物の関係学			学年	1
講師名	◎今木 康彦	単位数	2	コマ数	15
<p>教科目標</p> <p>動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会学的側面から理解する。</p> <p>◎上記の内容は、担当教員の獣医療および社会福祉士および実務家としての経歴を活かし、動物に偏りがちな学生の視点を「人・社会とのつながり」を常に考える意識と態度を涵養する。</p>					
講 義 内 容	1	人と動物の関係と歴史			
	2	学問的背景			
	3	人と動物の関係:家畜化			
	4	人と動物の関係:犬・猫			
	5	人と動物の関係:馬、伴侶動物との新たな関係とAAI			
	6	人と動物の関係:野生動物			
	7	動物が人に及ぼす影響:生理的效果			
	8	動物が人に及ぼす影響:心理的效果、社会的効果			
	9	使役動物から介在動物へ:使役動物			
	10	使役動物から介在動物へ:補助犬			
	11	使役動物から介在動物へ:介在動物			
	12	使役動物から介在動物へ:動物介在療法			
	13	使役動物から介在動物へ:動物介在教育			
	14	使役動物から介在動物へ:動物介在活動			
	15	子供と動物の関係:子供・高齢者・罪を犯した人			

評価方法	授業参加度および最終課題		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	愛玩動物看護師の教科書6		緑書房

科目名	生命倫理・福祉			学年	1
講師名	西山 祥子	単位数	2	コマ数	15
教科目標 動物愛護や福祉(アニマルウェルフェア)、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ					
講 義 内 容	1	動物福祉の概念			
	2	動物愛護			
	3	動物福祉			
	4	動物の権利			
	5	西欧と日本の違い			
	6	法律			
	7	獣医療の現場で直面する生命倫理			
	8	ペットロス			
	9	安楽死			
	10	動物保護施設・収容動物の福祉			
	11	産業動物の福祉			
	12	実験動物の福祉			
	13	展示動物の福祉			
	14	野生動物の福祉			
	15	飼育動物の災害時の対応			

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 A B C D F	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		} 単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書1		緑書房	

科目名	動物行動学			学年	1
講師名	◎小田 健郎	単位数	2	コマ数	15
教科目標 大や猫の種としての行動様式の特徴を学ぶ。 ◎担当教員は公的な動物保護管理実務経験があり、犬猫の問題行動に特化した動物診療施設を開設している。その経験を活かし、動物福祉保護の観点から人と伴侶動物のより良い関係を作るための視点を重視する。					
	1	生得的行動			
	2	習得的行動			
	3	行動制御			
	4	個体維持行動: 摂食・飲水			
	5	個体維持行動: 排泄			
	6	個体維持行動: 休息			
	7	発達過程と社会行動: 発達ステージ			
	8	発達過程と社会行動: 生殖行動			
	9	発達過程と社会行動: 社会行動			
	10	発達過程と社会行動: 攻撃と親和行動			
	11	学習理論: 行動変化			
	12	学習理論: 馴化、感作、脱感作			
	13	学習理論: 古典的条件付け			
	14	学習理論: 行動変化			
	15	学習理論: オペラント条件付け			

評価方法		授業参加度および最終課題		
評価基準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上): 教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80~89点): 教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点): 教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点): 教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格): 教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び 参考図書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書2		緑書房	

科目名	動物行動学			学年	2
講師名	小田 健郎	単位数	2	コマ数	15
教科目標 大や猫の問題行動の原因と対処、予防法を理解する。 ◎担当教員は公的な動物保護管理実務経験があり、犬猫の問題行動に特化した動物診療施設を開設している。その経験を活かし、動物福祉保護の観点から人と伴侶動物のより良い関係を作るための視点を重視する。					
講 義 内 容	1	問題行動:定義と要因			
	2	問題行動:攻撃行動			
	3	問題行動:恐怖に起因する行動			
	4	問題行動:分離不安			
	5	問題行動:不適切な排泄			
	6	問題行動:老齢性認知機能低下			
	7	行動治療と予防			
	8	行動診療の勧め方			
	9	コンサルテーションの方法			
	10	行動修正法			
	11	環境修正法			
	12	薬物療法			
	13	飼主への指導			
	14	社会化教室			
	15	まとめ			

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書2		緑書房	

科目名	愛玩動物学			学年	1	
講師名	◎小田 健郎		単位数	2	コマ数	15
教科目標 愛玩動物である犬猫の行動を理解するために、発達行動学を基礎とした知識を修得する。 ◎担当教員は公的な動物保護管理実務経験があり、犬猫の問題行動に特化した動物診療施設を開設している。その経験を活かし、動物福祉保護の観点から人と伴侶動物のより良い関係を作るための視点を重視する。						
講 義 内 容	1	伴侶動物の定義				
	2	犬の歴史				
	3	犬の品種:牧羊犬、牧畜犬、使役犬				
	4	犬の品種:テリア、ダックスフンド				
	5	犬の品種:原始的な犬、スピッツ				
	6	犬の品種:ポインター、セター				
	7	犬の品種:レトリバー 愛玩犬				
	8	犬の品種:臭覚ハウンド、視覚ハウンド				
	9	犬の行動変化				
	10	猫の歴史				
	11	猫の品種:スコティッシュ、マンチカン				
	12	猫の活用:ノルウェージャン等				
	13	猫の活用				
	14	犬の飼育管理法				
	15	猫の飼育管理法				

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		} 単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書1		緑書房	

科目名	愛玩動物学			学年	2
講師名	徳田 龍弘	単位数	2	コマ数	15
教科目標 エキゾチック動物の歴史や品種、飼育管理法および生態について学ぶ					
講 義 内 容	1	エキゾチックアニマル			
	2	ウサギの生態			
	3	ウサギの形態機能			
	4	ウサギの種類			
	5	飼鳥の生態			
	6	飼鳥の形態機能			
	7	飼鳥の種類			
	8	代表的なエキゾチック動物の種類			
	9	代表的なエキゾチック動物の特徴			
	10	代表的なエキゾチック動物の生態			
	11	両生爬虫類の生態			
	12	ウサギの飼育管理法			
	13	飼鳥の飼育管理法			
	14	代表的なエキゾチック動物の飼育管理法			
	15	その他エキゾチック動物の飼育管理法			

評価方法	授業参加度および最終課題		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	愛玩動物看護師の教科書1		緑書房

科目名	比較動物学			学年	2
講師名	徳田 龍弘	単位数	2	コマ数	15
教科目標 実験動物の歴史や品種、飼育管理法、動物実験との関わりについて学ぶ 産業動物の歴史や品種、飼養管理法および畜産業など社会との関わりについて学ぶ					
講 義 内 容	1	実験動物の目的および意義			
	2	動物種および品種			
	3	系統			
	4	代表的な実験動物			
	5	保定 固体管理			
	6	遺伝的制御			
	7	微生物学的制御			
	8	環境制御			
	9	産業動物とは			
	10	品種、特徴			
	11	飼育管理法			
	12	性周期と繁殖生理 繁殖 人工授精			
	13	飼養施設 健康管理			
	14	日本の産業動物			
	15	世界の動き			

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		} 単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書2		緑書房	

科目名	比較動物学			学年	3
講師名	徳田 龍弘		単位数	2	コマ数 15
教科目標 日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ					
講 義 内 容	1	生物多様性			
	2	野生動物保全			
	3	野生動物による鳥獣害の現状			
	4	日本の野生動物の生態および生育環境			
	5	生物多様性における国家戦略			
	6	絶滅危惧種の定義および原因			
	7	絶滅危惧種の保全			
	8	展示動物			
	9	動物園・水族館の意義と役割			
	10	動物園の固体群管理			
	11	動物園の行動管理			
	12	動物園の施設管理			
	13	外来種の定義			
	14	外来生物が在来生態系に及ぼす影響			
	15	外来生物対策			

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		} 単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書2		緑書房	

科目名	動物内科看護学			学年	1・2	
講師名	高砂 友美	中澤 茂樹	単位数	6	コマ数	45
教科目標 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。						
講 義 内 容	1	健康の保持と増進				
	2	グルーミングの目的と内容				
	3	日常の健康管理				
	4	病気の早期発見				
	5	バイタルサインとバイタルチェック				
	6	診察室における動物看護師の役割				
	7	衛生管理				
	8	保定				
	9	身体検査とアセスメント項目				
	10	検査器具の取扱方				
	11	採血・採尿				
	12	穿刺、吸引、カテーテルおよび酸素吸入				
	13	薬の取扱				
	14	輸液に関わる技術				
	15	輸血に関わる技術				

評価方法	授業参加度および最終課題		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	愛玩動物看護師の教科書4		緑書房

科目名	動物外科看護学				学年	2・3
講師名	中澤 茂樹 高砂 友美		単位数	4	コマ数	30
教科目標 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。						
講 義 内 容	1	総論	16	歯科器具		
	2	術前手続き	17	直接補助		
	3	無菌的処置	18	間接補助		
	4	滅菌法	19	術後管理のモニタリング		
	5	衛生的清掃	20	疼痛管理		
	6	器具の準備	21	術創管理 包帯法		
	7	術者の準備	22	退院時の注意 飼主への説明		
	8	ポジショニング	23	褥瘡の予防と対処法		
	9	術野の消毒	24	救急救命:エマージェンシー		
	10	麻酔リスク	25	救急救命:救急疾患とショック		
	11	麻酔前投与	26	救急救命:CRP		
	12	注射麻酔	27	理学療法:総論		
	13	導入時、覚醒時のリスクと対処法	28	理学療法:プログラムとアセスメント		
	14	麻酔監視項目と麻酔記録	29	理学療法:飼主による観察事項		
	15	代表的な器具と縫合材	30	理学療法:状態観察		

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書4		緑書房	

科目名	動物臨床看護学総論			学年	2
講師名	納谷 史織	単位数	2	コマ数	15
教科目標 動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する					
講 義 内 容	1	動物看護過程の目的、意義、方法			
	2	動物看護過程のステップ			
	3	動物看護過程の事例研究			
	4	動物看護過程の展開と評価			
	5	動物看護記録の作成:目的			
	6	動物看護記録の作成:目的書式と留意点			
	7	動物看護記録の作成:事例と記入時注意点			
	8	事故管理、防止システム			
	9	若齢動物の看護			
	10	高齢動物の看護:変化			
	11	高齢動物の看護:管理法			
	12	ターミナルケア			
	13	QOL、ホスピス、緩和ケア			
	14	志望した動物への対応 エンゼルケア			
	15	動物との死別した人の悲嘆と向き合う			

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		} 単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書5		緑書房	

科目名	動物臨床看護学各論						学年	3
講師名	納谷 史織 門田 英敏			単位数	8	コマ数	60	
教科目標 動物の生命維持のしくみを形態学・機能学・生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各段階で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。								
講 義 内 容	1	全身徴候	16	気管虚脱	31	甲状腺疾患	46	神経性疾患
	2	疼痛の定義	17	肺炎	32	副腎皮質疾患	47	脳炎
	3	疼痛の種類	18	消化器系疾患	33	生殖器疾患	48	てんかん
	4	徴候を示す用語	19	歯石症	34	潜在精巣	49	椎間板ヘルニア
	5	嘔吐と吐出	20	巨大食道症	35	前立腺疾患	50	変形性脊椎症
	6	排便異常	21	GDV	36	子宮蓄膿症	51	眼疾患
	7	排尿異常	22	PLE	37	乳腺腫瘍	52	結膜炎
	8	呼吸異常	23	急性腹症	38	整形外科疾患	53	緑内障
	9	病態用語	24	巨大結腸症	39	骨折	54	白内障
	10	循環器疾患	25	泌尿器疾患	40	脱臼	55	造血器疾患
	11	僧房弁逆流症	26	急性腎傷害	41	靭帯断裂	56	免疫介在疾患
	12	心筋症	27	慢性腎臓病	42	皮膚疾患	57	緊急疾患
	13	PDA	28	FLUTD	43	膿皮症	58	担がん動物
	14	呼吸器疾患	29	内分泌疾患	44	疥癬症	59	がん検査
	15	鼻炎	30	糖尿病	45	アレルギー	60	がん看護

評価方法	授業参加度および最終課題		
評価基準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び 参考図書	書籍名	著者名	発行所
	愛玩動物看護師の教科書5		緑書房

科目名	動物栄養学			学年	1・2	
講師名	門田 英敏		単位数	4	コマ数	30
教科目標 五大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を修得する。						
講 義 内 容	1	5大栄養素	16	ペットフードの種類と分類		
	2	炭水化物	17	表示		
	3	脂肪	18	手作りフード 食材別留意点		
	4	蛋白質	19	手作りフード		
	5	ビタミン	20	栄養状態の評価法		
	6	ミネラル	21	肥満の弊害と減量プログラム		
	7	水	22	疾患と栄養指導		
	8	栄養要求の種差	23	疾患別栄養特性: FLUTD		
	9	犬猫の必要栄養素の違い	24	疾患別栄養特性: 皮膚疾患		
	10	欠乏症と過剰症	25	疾患別栄養特性: 心臓病		
	11	食性 嗜好	26	疾患別栄養特性: 慢性腎不全		
	12	摂食行動	27	疾患別栄養特性: 肝疾患		
	13	欠乏症	28	疾患別栄養特性: 糖尿病		
	14	過剰症	29	疾患別栄養特性: 関節疾患		
		15	エネルギー要求量	30	強制給餌、経管・静脈栄養法	

評価方法	授業参加度および最終課題		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上): 教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80~89点): 教科目標達成において優れている。	
		C(70~79点): 教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60~69点): 教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格): 教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	愛玩動物看護師の教科書2		緑書房

科目名	動物臨床検査学			学年	2
講師名	中澤 茂樹	単位数	2	コマ数	15
教科目標 五大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を修得する。					
講 義 内 容	1	臨床検査の基礎	16	X線装置	
	2	血液検査:血漿・血清	17	X線検査	
	3	血液検査:CBC	18	被爆の問題点と管理	
	4	血液検査:生化学	19	CTおよびMRI	
	5	尿検査:採尿法と検体の取扱	20	超音波検査	
	6	尿検査:性状	21	内視鏡検査	
	7	尿検査:尿沈渣	22	神経学的検査:動作・反応	
	8	糞便検査:一般性状	23	神経学的検査:器具	
	9	糞便検査:採便法	24	神経学的検査:反射	
	10	糞便検査:細菌の観察	25	眼科検査:シルマー試験	
	11	細胞診	26	眼科検査:眼底検査	
	12	病理組織検査	27	眼科検査:眼圧測定	
	13	心電図:目的と意義	28	皮膚と耳の官能的観察	
	14	心電図:実施方法	29	皮膚検査	
	15	血圧測定	30	耳の検査	

評価方法	授業参加度および最終課題			
評価基準	新 評 価 A B C D F	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び 参考図書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書4		緑書房	

科目名	動物医療コミュニケーション			学年	2
講師名	高砂 友美	単位数	1	コマ数	15
教科目標 日常健康管理に関わる飼い主教育や事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ					
講 義 内 容	1	クライアントエデュケーション: 概論			
	2	クライアントエデュケーション: サービス			
	3	クライアントエデュケーション: 適正飼育			
	4	クライアントエデュケーション: 良好な関係作り			
	5	クライアントエデュケーション: 適切な予防法			
	6	クライアントエデュケーション: 接遇とホスピタリティー			
	7	クライアントエデュケーション: 在宅治療			
	8	院内コミュニケーション: インフォームドコンセント			
	9	院内コミュニケーション: 医療面接のプロセス			
	10	院内コミュニケーション: チーム医療			
	11	院内マネジメント: 受付業務			
	12	院内マネジメント: 物品購入・管理			
	13	院内マネジメント: 動物保険医療			
	14	グリーフケア			
	15	ペットロス			

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上): 教科目標を高い水準で達成している。		} 単位認定
		B(80~89点): 教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点): 教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点): 教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格): 教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書5		緑書房	

科目名	適正飼養指導論			学年	1・2	
講師名	竹原 晶代		単位数	4	コマ数	30
教科目標 愛玩動物の飼養の歴史、人に対する良い影響およびトラブルやリスク、ペットロスなど動物の死と向き合う関係者の心理過程や対応、災害における動物医療及び愛玩動物看護師に期待される役割や指導法について学ぶ						
講 義 内 容	1	人と動物の関係	16	災害時の同行避難の意義と重要性		
	2	愛玩動物の適正飼養の目的	17	災害への備え		
	3	愛玩動物の適正飼養の概念	18	災害獣医療		
	4	愛玩動物飼育から人間が受ける恩恵	19	災害時における愛玩動物看護師		
	5	愛玩動物飼育から人間が受ける問題点	20	平常時における愛玩動物看護師		
	6	ペットロス	21	動物愛護管理行政		
	7	ペットロスと反応	22	公衆衛生業務と愛玩動物看護師		
	8	対象喪失に伴う悲哀の心理過程	23	動物愛護週間		
	9	ペットロスに対する対応	24	犬猫引取および収容処分状況		
	10	適正飼養に関する支援の目的	25	動物による事故		
	11	適正飼養に関する支援の活動	26	動物愛護センターの活動		
	12	動物取扱者における適正飼養	27	動物愛護推進員・協議会		
	13	愛玩動物過剰繁殖の問題と対策	28	動物取扱業		
	14	問題行動予防のための適正飼育方法	29	動物取扱責任者		
	15	災害とは	30	まとめ		

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書6		緑書房	

科目名	動物生活環境学			学年	3
講師名	今木 康彦	単位数	2	コマ数	15
教科目標 ペットの生育環境の特性、動物行動学をふまえた飼養環境整備やその方法、問題行動および多頭飼育崩壊における社会的背景、ペット共生住宅の現状と環境整備および管理法について学ぶ					
講 義 内 容	1	飼養環境整備	16	災害時の同行避難の意義と重要性	
	2	ペット共生住宅	17	災害への備え	
	3	犬と猫の生活環境の違い	18	災害獣医療	
	4	環境整備上とくに注意すべき点	19	災害時における愛玩動物看護師	
	5	ペット共生住宅の考慮ポイント	20	平常時における愛玩動物看護師	
	6	ペットツーリズム	21	動物愛護管理行政	
	7	ペットロスと反応	22	公衆衛生業務と愛玩動物看護師	
	8	対象喪失に伴う悲哀の心理過程	23	動物愛護週間	
	9	ペットロスに対する対応	24	犬猫引取および収容処分状況	
	10	適正飼養に関する支援の目的	25	動物による事故	
	11	適正飼養に関する支援の活動	26	動物愛護センターの活動	
	12	動物取扱者における適正飼養	27	動物愛護推進員・協議会	
	13	愛玩動物過剰繁殖の問題と対策	28	動物取扱業	
	14	問題行動予防のための適正飼育方法	29	動物取扱責任者	
	15	災害とは	30	まとめ	

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書6		緑書房	

科目名	ペット関連産業論			学年	3
講師名	今木 康彦	単位数	2	コマ数	15
教科目標 ペット産業における職業倫理、飼養実態と市場規模、現状と課題について学び、動物取扱業の概要・資格および愛玩動物看護師のペット関連産業において期待される役割について学ぶ					
講 義 内 容	1	責任と社会的役割			
	2	商取引における関連法規			
	3	動物愛護管理法にもとづく事前説明			
	4	ペットの飼育実態			
	5	ペット関連産業の概要と市場規模			
	6	ペット関連産業全体と市場規模			
	7	ペット産業の分類			
	8	動物病院の現状			
	9	動物病院以外のサービス業の現状			
	10	生体販売業の現状			
	11	ペットショップの現状			
	12	その他ペット産業の現状			
	13	動物取扱業の概要			
	14	動物取扱業者の規制			
	15	動物取扱責任者			

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		} 単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書6		緑書房	

科目名	動物愛護・適正飼養実習			学年	1	
講師名	門田 英敏	◎山美 希実	単位数	2	コマ数	45
教科目標 動物の飼養管理に関する基本的な取扱い、情報共有、のコミュニケーション、健康管理、しつけ、子犬で留意すべきことなど、学内動物を中心として実践力を修得する ◎上記の内容を、担当教員の実務経験【動物取扱業】を活用し、実際の保管や訓練について犬を用いて実践的に指導する。						
講 義 内 容	1	基本的な扱い方	16	血統書		
	2	散歩	17	爪切り		
	3	衛生管理	18	肛門腺絞り		
	4	消毒	19	足回りのカット		
	5	感染症	20	シャンプー		
	6	体調管理	21	情報発信		
	7	器具の扱い方	22	動物愛護法		
	8	しつけ	23	犬種特性		
	9	トイレトレーニング				
	10	食餌管理				
	11	環境整備				
	12	飼育日誌				
	13	情報共有とコミュニケーション				
	14	予防接種				
	15	犬の登録と狂犬病関連実務				

評価方法	授業参加度および最終課題			
評価基準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び 参考図書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書6		緑書房	

科目名	動物形態機能学実習			学年	1
講師名	三浦 希	単位数	1	コマ数	23
教科目標 動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ					
講 義 内 容	1	概論	16	形態と構造:前肢上部	
	2	体表面	17	形態と構造:前肢下部	
	3	運動器:骨	18	形態と構造:後肢上部	
	4	運動器:関節	19	形態と構造:後肢下部	
	5	運動器:骨格筋	20	組織像:主要臓器	
	6	内臓器官:主要臓器の配置	21	組織像:代表的な構造	
	7	内臓器官:消化管	22	鳥類の特徴	
	8	内臓器官:腹腔内臓器	23	両生爬虫類の特徴	
	9	内臓器官:胸腔内臓器			
	10	神経系:中枢神経形			
	11	形態と構造:頭部			
	12	形態と構造:頸部			
	13	形態と構造:胸部			
	14	形態と構造:腰部			
	15	形態と構造:尾部			

評価方法	授業参加度および最終課題		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	愛玩動物看護師の教科書1		緑書房

科目名	動物内科看護学実習				学年	1・2
講師名	高砂 友美 中澤 茂樹		単位数	3	コマ数	45
教科目標 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する						
講 義 内 容	1	基本的な取扱	16	外耳炎の処置	31	薬物の取扱
	2	安全な取扱	17	診察の準備	32	経口投与
	3	飼育環境	18	衛生管理	33	薬物注射の手順
	4	身体検査	19	基本的な保定	34	輸液と輸血
	5	意識レベル	20	犬の保定	35	留置針
	6	BCS	21	猫の保定	36	輸液ポンプ
	7	粘膜色	22	道具による保定	37	輸液シリンジ
	8	体表リンパ節	23	行動学的保定	38	輸液ルート of 準備
	9	体重測定	24	薬物を用いた保定	39	注射針の取扱
	10	体温	25	聴診器	40	輸血の準備
	11	脈拍	26	体温計	41	クロスマッチ
	12	呼吸	27	注射器	42	輸血動物の管理
	13	CRT	28	採血	43	酸素室
	14	股動脈圧	29	駆血	44	眼科で使う器具
	15	トリミングと獣医療	30	採尿	45	眼科健診

評価方法	授業参加度および最終課題		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	愛玩動物看護師の教科書4		緑書房

科目名	動物臨床検査学実習				学年	2
講師名	徳田 龍弘		単位数	2	コマ数	45
教科目標 検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ実践力を修得する						
講 義 内 容	1	検体検査	16	血液凝固系検査	31	糞便検査:直接法
	2	マイクロピペット	17	生化学の検査項目	32	糞便検査:間接法
	3	遠心分離機	18	簡易血清学的検査	33	糞便検査:簡易キット
	4	ヘマトクリット管	19	輸血	34	細胞診
	5	CBC	20	クロスマッチ	35	細胞診の準備と保定
	6	CBCの手順	21	採尿法	36	細胞診の標本作成
	7	自動血球計算装置	22	尿検体の保存	37	心電図:手順
	8	血漿	23	尿の官能的検査	38	心電図:解析
	9	血清	24	尿比重	39	超音波診断装置
	10	血液塗抹標本	25	尿検査試験紙	40	X線検査
	11	血液染色	26	尿化学検査	41	超音波診断装置
	12	白血球分類	27	尿沈渣	42	神経学的検査
	13	網状赤血球	28	糞便検査:取扱	43	眼科検査
	14	赤血球の分類	29	糞便検査:一般性状	44	皮膚検査
	15	血液性化学検査	30	糞便検査:採便法	45	外耳道検査

評価方法	授業参加度および最終課題		
評価基準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び 参考図書	書籍名	著者名	発行所
	愛玩動物看護師の教科書4		緑書房

科目名	動物外科看護学実習				学年	3
講師名	中澤 茂樹 高砂 友美		単位数	2	コマ数	45
教科目標 手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など動物外科学で学んだ知識の実践力を修得する						
講 義 内 容	1	手術器具の準備	16	麻酔器の操作	31	歯科器具
	2	手術器具の滅菌	17	心電図	32	歯石除去
	3	無菌操作	18	血圧計	33	術後創部管理
	4	術衣の準備	19	モニタリング	34	包帯
	5	タオル・ドレープ類	20	記録の取り方	35	ネット・カラー
	6	機器の準備	21	消耗品とその管理	36	縫合
	7	機械類の準備	22	保存法	37	抜糸
	8	動物の固定	23	器具の準備	38	麻酔処置
	9	術野の消毒	24	器具の名称	39	去勢手術
	10	手洗い	25	器械の打合せ	40	避妊手術
	11	術衣の装着	26	手術の補助	41	救急救命:機材
	12	手袋の装着	27	無影灯	42	救急救命:薬剤
	13	手術室の環境管理	28	保温マット	43	救急救命:送管
	14	麻酔器の名称	29	バイタルチェック	44	救急救命:人工呼吸
	15	麻酔器の使用法	30	アセスメント	45	救急救命:マッサージ

評価方法	授業参加度および最終課題		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	愛玩動物看護師の教科書4		緑書房

科目名	動物臨床看護学実習			学年	3
講師名	高砂 友美	単位数	2	コマ数	45
教科目標 動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する					
講 義 内 容	1	事例検討:動物看護のアプローチ	16	入院:ケージの清掃	
	2	事例検討:動物看護過程の展開	17	入院:ケージの管理	
	3	動物看護過程:生活環境	18	入院:ペインスケール	
	4	動物看護過程:生活環境とその展開	19	入院:痛みの管理と緩和	
	5	動物看護過程:症状	20	栄養管理	
	6	動物看護過程:入院	21	栄養チューブ	
	7	動物看護過程:治療	22	流動食	
	8	動物看護過程:家族に及ぼす影響	23	褥瘡	
	9	動物看護過程:動物看護上の関り方			
	10	動物看護過程:内容と方法の立案			
	11	動物看護過程:問題とニーズ			
	12	動物看護過程:看護計画の作成			
	13	動物看護過程:看護記録の作成			
	14	入院:入院動物の管理			
	15	入院:入院動物のアセスメント			

評価方法	授業参加度および最終課題			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	愛玩動物看護師の教科書5		緑書房	

科目名	動物看護総合実習				学年	2	
講師名	契約実習施設等			単位数	2	コマ数	45
教科目標 内科的分野を中心として、動物病院および動物関連施設の現場へ赴き、学内で学んだことを実践して理解を深めると共に、チーム獣医療の実際と飼主さまに対する医療関係者としての倫理観と職業意識を醸成する。外科的分野は体験として学び、学内での学びに活かす。							
講 義 内 容	1	コミュニケーション	16	基本的な保定	31	手洗い	
	2	飼主への対応	17	犬の保定	32	術衣の装着	
	3	チーム獣医療	18	猫の保定	33	手袋の装着	
	4	身体検査	19	駆血	34	心電図	
	5	意識レベル	20	輸液ルート準備	35	モニタリング	
	6	BCS	21	血液検査	36	記録の取り方	
	7	粘膜色	22	尿検査	37	消耗品とその管理	
	8	体表リンパ節	23	糞便検査	38	手術の補助	
	9	体重測定	24	眼科検査	39	バイタルチェック	
	10	体温	25	皮膚検査	40	スケーリング	
	11	脈拍	26	外耳道検査	41	術後創部管理	
	12	呼吸	27	手術器具の準備	42	麻酔処置	
	13	CRT	28	術衣の準備	43	去勢手術	
	14	診察の準備	29	タオル・ドレープ類	44	避妊手術	
	15	衛生管理	30	術野の消毒	45	救急救命	

評価方法	授業参加度および最終課題			
評価基準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		単位認定
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び 参考図書	書籍名	著者名	発行所	

科目名	動物看護総合実習				学年	3	
講師名	契約実習施設等			単位数	2	コマ数	45
教科目標 最終学年の総仕上げとして、動物病院および動物関連施設の現場へ赴き、学内で学んだことを実践して理解を深めると共に、チーム獣医療の実際と飼主さまに対する医療従事者としての倫理観と職業意識、即戦力としての技術を修得する							
講 義 内 容	1	コミュニケーション	16	基本的な保定	31	手洗い	
	2	飼主への対応	17	犬の保定	32	術衣の装着	
	3	チーム獣医療	18	猫の保定	33	手袋の装着	
	4	身体検査	19	駆血	34	心電図	
	5	意識レベル	20	輸液ルート準備	35	モニタリング	
	6	BCS	21	血液検査	36	記録の取り方	
	7	粘膜色	22	尿検査	37	消耗品とその管理	
	8	体表リンパ節	23	糞便検査	38	手術の補助	
	9	体重測定	24	眼科検査	39	バイタルチェック	
	10	体温	25	皮膚検査	40	スケーリング	
	11	脈拍	26	外耳道検査	41	術後創部管理	
	12	呼吸	27	手術器具の準備	42	麻酔処置	
	13	CRT	28	術衣の準備	43	去勢手術	
	14	診察の準備	29	タオル・ドレープ類	44	避妊手術	
	15	衛生管理	30	術野の消毒	45	救急救命	

評価方法	授業参加度および最終課題		
評価基準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び 参考図書	書籍名	著者名	発行所